

2024年度 公開FD研修会

学生×プロ＝可能性∞

イベントプロデュース

情報マネジメント学部が展開する大規模PBL

2025年3月7日

産業能率大学 情報マネジメント学部 教授

学科主任 川野邊 誠

Doctor of Software Information Science

情報マネジメント学部の専門教育カリキュラム

コース専門科目

コース横断プロジェクト

コンテンツビジネス

マーケティング企画

スポーツマネジメント

ビジネスマネジメント

デジタルビジネスデザイン

フィールド専門科目

経営

組織

人材

会計

マーケティング

管理手法

コンテンツ制作

先端デジタル

プログラミング

- 多様な専門分野の課題を題材にマネジメントの知識と技法を修得し、実践の場に応用する能力を育成

➤ 2年次後期からコース配属

- 「コース横断プロジェクト」は各専門コースに限定されない特色のあるPBL科目を配置

- マネジメントと情報に関する専門知識や技術を修得し、専門能力を高める科目を9分野に分けて配置
- コース専門科目と関連付けて学ぶことで、各コース専門科目の理解をより深める役割を担う

コース横断プロジェクト科目と5つの専門コースとの関係

2年次配当科目

スポーツプロモーション

前期集中4単位

フィットネスビジネス実践

後期集中2単位

地域ブランド創造プロジェクト

イベントプロデュース

通年集中
4単位

プロとのコラボレーションにおける「**実戦**」を通して、学びの目的を見出す

スポーツマネジメント

コンテンツビジネス

デジタルビジネスデザイン

マーケティング企画

ビジネスマネジメント

コースでの学びの成果をプロとのコラボレーションにおける「**実戦**」で発揮する

3・4年次配当科目

コンテンツビジネス実践

湘南ベルマーレコラボレーションプロジェクト

「イベントプロデュース」とは

- 日刊スポーツ新聞社とのタイアップ科目
- 教員による指導
 - 企画のノウハウ、プロジェクトマネジメント
- プロによる講義
 - 現場のノウハウを伝授
- 大規模イベントでのイベント運営実習
 - オリジナルイベントの企画・運営
 - イベント内容を実際の新聞紙面へ！



「SANNO CUP」の概要

神奈川県下、東京都下の小学生対象ビーチバレーボール大会

- 日本小学生バレーボール連盟承認、平塚&藤沢地域小学生バレーボール連盟、町田市少年少女バレーボール協会、各公認
- 後援：伊勢原市、伊勢原市教育委員会、日本バレーボール協会、他
- 協賛企業からの支援
- 開催時期：10月中旬から下旬の土曜日または日曜日
- 開催場所：湘南キャンパス ビーチバレーコート
- 参加予定チーム数：例年16～20チーム（200名の参加）

大事なこと

- 全てを学生の手で！
 - 企画、外部交渉、予算管理、運営、プロモーション、報道
- 選手の皆様に、出場して「良かった」と思っていていただく
また来年も「参加したい」と思っていていただく
- チーム関係者、保護者の方にも「良かった」と思っていていただく



参考：「SANNO CUP」のあゆみ

- 第1回～4回：ビーチバレーボールの普及を第一目的
- 第5回(2016年)：試合時間の伸長など競技性向上を目指す
- 第6回(2017年)：競技性の向上
 - 各地区・地域での予選会の実施
 - (一部地域は履修生が運営)
 - 参加チームを20チームに絞り込み、決勝大会として位置付ける
 - ビーチバレーボール連盟が検討中の小学生用4人制ルールを先駆けて採用
 - 雨天開催のノウハウの蓄積
- 第7回、第8回(2018、19年)：大会価値の向上
 - 外部(スポンサー、地域、ビーチバレーボール競技)に対する大会の価値付を考える
 - 日本バレーボール協会の後援獲得、スポンサー数増
 - 競技普及イベント「キッズビーチ」企画・開催
- 第9回(2020)：万全の感染対策の下、大会実施
 - オンライン「キッズビーチ」配信
- 第10回(2021)：降雨の中の大会
 - 準備したマニュアルの想定外の臨機応変な運営
 - ビーチバレーボール普及Webサイト立ち上げ
- 第11回(2022)：withコロナに向けての規模回復を目指す
- 第12回(2023) 大学のキャンパス環境の変化に
- 第13回(2024) 対応した新しい大会運営方法の模索

参考：興味・関心が学修に繋がるプロセス

興味・関心

ジャンルを問わず
イベント運営全般
に興味がある

企画・プロデュースを基礎から
じっくり時間をかけて学び、
実際にプロデュースしてみたい

マスコミ媒体や
ネットを使用した
情報発信に興味がある

必要とされる知識・能力

■ イベント運営についての理解 ■ 企画力 ■ プロデュース能力
■ 交渉力 ■ コミュニケーション能力 ■ スポンサーの発掘
■ 予算管理能力 ■ 情報収集力(取材力) ■ 情報発信力

どのように養うか

- 企画の立て方を基礎から学習
- 各分野のプロがイベント運営や取材・記事作成のノウハウを伝授
- 35名を担当部署に分け、分業体制下での協業によりコミュニケーション能力を養う
- スポンサーの発掘、交渉を実際に行う
- 大規模エンターテインメントイベントでの実習
- 約200名の来場者を集めるスポーツイベントを全て自分たちの力で運営

産業能率大学・教育開発研究所・F D 研修会

「大社連携の視点からみるP B Lの価値
～企業にとって大学P B Lの学びがもたらすもの～」

産業能率大学×日刊スポーツ
P B L コラボ授業

2025年3月7日

(株) 日刊スポーツ P R E S S
藤井 伸介

◆藤井伸介（ふじい・しんすけ＝1975年生まれ、49歳）

1998年（平10）3月＝北海道教育大学・教育学部・函館校・情報科学コース卒
同・4月＝日刊スポーツ印刷社（現・日刊スポーツPRESS）入社
経営企画室、情報システム課、営業課、工程管理部を歴任

2017年（平29）3月＝日刊スポーツ新聞社・広告事業部（現・広告部）に出向
産業能率大との連携を約7年（2017～23年度）担当

2024年（令6）11月＝日刊スポーツPRESSに復職
整理制作本部 制作部 制作一課にて、広告編成業務を現任

◆日刊スポーツ（にっかん・すぽーつ）

1946年（昭21）3月6日＝創刊（日本初のスポーツ新聞）

1997年（平9）1月8日＝インターネット上での情報発信を開始
<http://www.nikkansports.com/>

2021年（令3）4月1日＝日刊スポーツNEWSを設立
デジタルとコンテンツを専門に扱う

新聞は、こんなにたくさんある

◆スポーツ6紙

日刊スポーツ

スポーツニッポン

スポーツ報知(報知新聞)

サンケイスポーツ

デイリースポーツ

東京中日スポーツ(廃刊、デジタルのみ)

◆夕刊紙

東京スポーツ

夕刊フジ(廃刊)

日刊ゲンダイ

◆一般紙

朝日新聞

毎日新聞

読売新聞

産経新聞

日本経済新聞

◆地方紙、コミュニティ紙、業界紙、団体紙、フリーペーパー、etc.

新聞

雑誌

チラシ

D
M

新聞の強み 「日刊スポーツ」の強み

ex.
自宅に
毎日届く

ex.
スポーツ
に強い

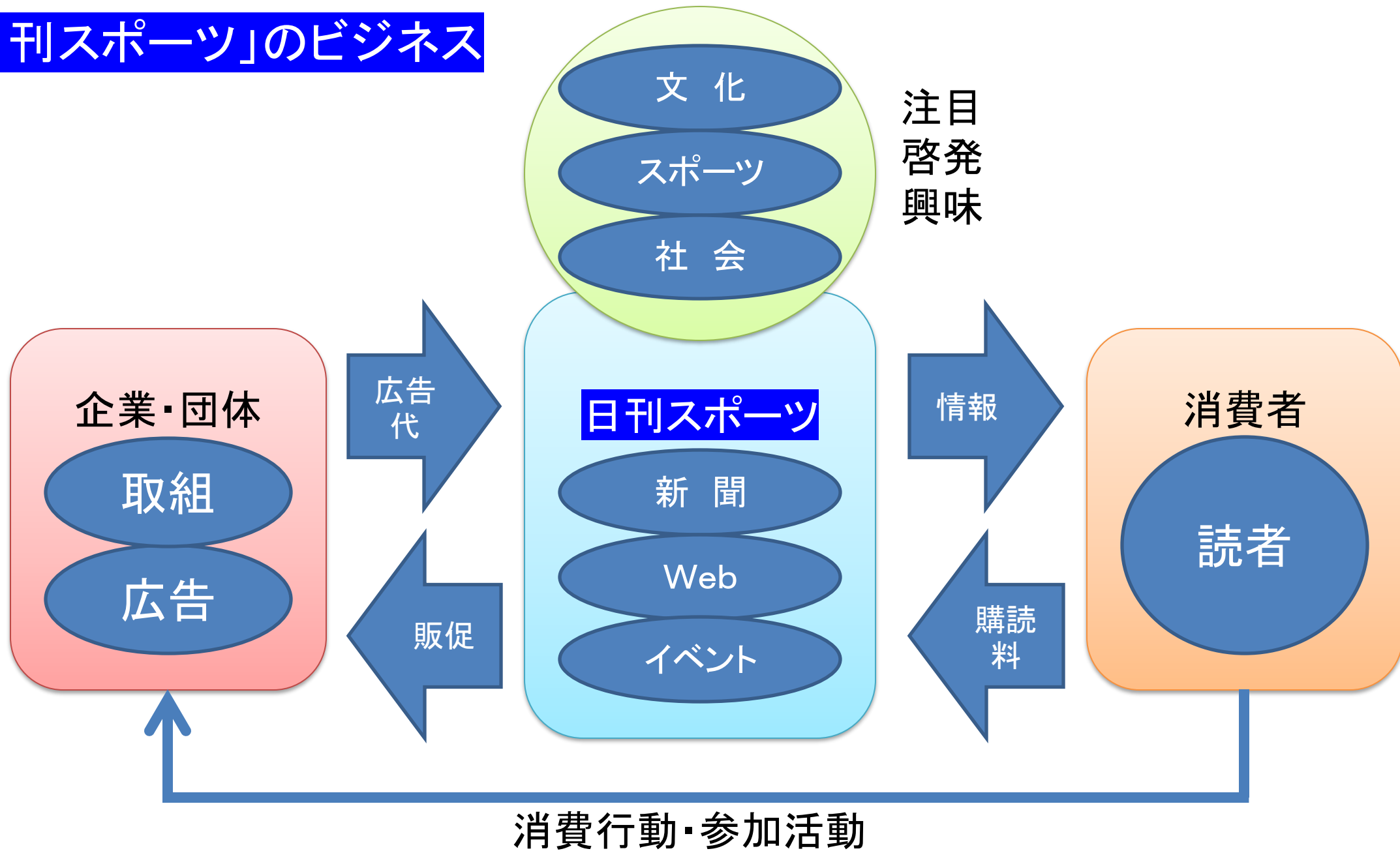
ex.
手元で大きく
広げられる

ex.
紙面を
記念に
残せる

ex.
スポーツ
だけ
じゃない

ex.
特定の
チームに
寄らない

◆「日刊スポーツ」のビジネス



◆「日刊スポーツ」のビジネス

新聞
「日刊スポーツ」

売上
>

ニュースサイトほか
「nikkansports.com」



◆日刊スポーツのイベント事業 (主催、共催、後援、協力)

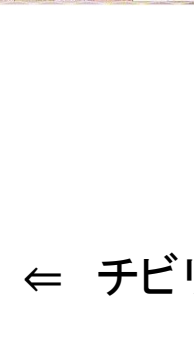
富士山マラソン、チビリンピック、神宮外苑花火大会、日刊アマゴルフ大会、etc.

(C) 日刊スポーツ新聞社



↑ 富士山マラソン2024(事後紙面)

(C) 日刊スポーツ新聞社



(C) 日刊スポーツ新聞社



↑ 神宮外苑花火大会 2024(事後紙面)

⇐ チビリンピック2024 (事後紙面)

産業能率大×日刊スポーツ PBLプロジェクト

通年講義「イベントプロデュース」

(2012年度～)

イベントプロデュースの基礎から実践を学び、イベントの運営補助や見学を実施、これらの経験や知識を活用して、日刊スポーツとの協働による小学生ビーチバレーボール大会「SANNO CUP」の企画・運営を行う。

小学生に向けてビーチバレーボールの普及を推進し、将来的に本邦初の小学生ビーチバレーボール全国大会への発展を目指す。

本大会を開催するために、履修者によって組織される実行委員会を結成し、プロデューサー、オペレーション、プロモーション、プレスといったグループに分かれて準備活動を行う。

(2024年度・講義シラバスより抜粋)

情報マネジメント学部

(コース横断プロジェクト)

2年生・約35人(2024年度)

中川直樹教授

川野邊誠教授

4月＝ガイダンス、概論（プロデュース、イベント企画、スポーツの意義）、グループ分け

5～7月＝講師派遣

日刊スポーツ社員によるノウハウ提供
外部企業・団体に所属の講師による講義

7～10月＝グループワーク、大会準備、紙面制作指導

8月上旬＝「神宮外苑花火大会」現地実習

10月上旬＝「SANNO CUP」開催

10月末＝「SANNO CUP」特集紙面掲載

◆日刊スポーツ社員によるノウハウ提供

< 記者 > 取材から記事化まで
聞く力（インプット）
伝える力（アウトプット）
見つける力（サーチ）
つながる力（コネクション）

現役社員による講義

記者講義1コマ（事前課題＝記事140字）
カメラマン講義1コマ（学内撮影、即興アドバイス）
イベント事業担当者1コマ
（神宮外苑花火大会オリエン1コマ）

< カメラマン（静止画・動画） >
撮影技術（切り取り方）
位置取り（事前の観察を含む）
雰囲気作り
動画キャプションの力

取材（インタビュー、撮影）機会の提供

（例）プロ野球OB宮本慎也氏
（「宮本杯学童軟式野球大会」見学）
神宮外苑花火大会・ゲスト取材
（松平健、テレ朝アナウンサーほか）
ホッケー・ジャパンリーグ
BCリーグ神奈川（監督取材）
Bリーグ立川ダイス



学生の書いた記事、撮った写真を
実際の「日刊スポーツ」に掲載も！

気になる情報

明治安田生命
健康意識高まった
3人に1人

明治安田生命アンケート
Jリーグのタイトルパートナーを務める明治安田生命保険は6日、「健康」に関するアンケートの結果を発表した。厚労省「健康増進普及月間」に合わせて実施。全国の20～70代、5640人にインターネットで調査した。コロナ5類移行後に「健康への意識が高まった」と答えた人は3人に1人以上(34・9%)。コロナ禍中に運動を開始した人は約4割(38・4%)で、そのうち8割以上(85・1%)の人が5類移行後も継続していると分かった。その他に、体重やストレスの変化、健康増進に向けた自己投資＝「健康投資」についてなどを調査。すべての回答は同社のニュースリリース(QRコードから)で公表されている。



産業能率大の学生がインタビュー



インタビューに答える川村監督(左)
BCリーグ、神奈川フューチャードリームス今季南地区3位
川村監督「来季は2度目の優勝目指す」
ルイトンBCリーグ、神奈川フューチャードリームスの川村監督(51)が、産業能率大イベントプロデュース講座を履修する学生のインタビューに答えた。今季は南地区3位で、来季は2度目の優勝を目指す。

前田が在籍中は4年連続で地区優勝し、ワールドシリーズにも2度出場。常勝軍団のイスマを肌で感じた。起用法とかいろいろありましたけど、リードマン(編成本部長)も監督も選手も勝つためにやっているので、すごい勉強になったし、面白かった。チームの勝利を追い求め、移籍を決断した大谷にとって、ドジャースは望み続けた場所だった。

◆ドジャースの最近10年成績

年	監督	勝	敗	勝率	ポストシーズン
15	ダマディン	92	70	.568	地区シリーズ敗退
16	ロバーツ	91	71	.562	リーグ優勝決定S敗退
17	〃	104	58	.642	ワールドシリーズ敗退
18	〃	92	71	.564	ワールドシリーズ敗退
19	〃	108	56	.654	地区シリーズ敗退
20	〃	43	17	.717	ワールドシリーズ優勝
21	〃	106	56	.654	リーグ優勝決定S敗退
22	〃	111	51	.685	地区シリーズ敗退
23	〃	100	62	.617	地区シリーズ敗退
24	〃	95	64	.597	?

【久保賢吾】 【注】順位は地区、20年は短縮シーズン。今季は26日現在

キャッチしたが、男性ファンに体を押されボールを奪われたとしている。裁判所はこの訴訟に関し、競売開始を許可したが、判決が出るまでは売却できないとしているという。

◆怪傷者リスト ドジャースの中継ぎ右腕、ブラスター・グラテロ投手(26)が右肩の炎症で負傷者リスト入り。昨季は68試合で4勝2敗19ホールド7セーブ、防御率1・20と活躍。今季は7試合で防御率2・45だった。

◆56年の歴史に幕
アスレチックス

選手	①	②	③	④	⑤	⑥
294	三振	中安	中安	中安	中安	中安
297	三ゴ	四球	三振	死球	中安	中安
301	三ゴ	四球	三振	死球	中安	中安
301	三ゴ	四球	三振	死球	中安	中安
303	三ゴ	四球	三振	死球	中安	中安
305	三ゴ	四球	三振	死球	中安	中安

◆来季から移転が決まっているアスレチックスが26日、本拠地オークランドコロシアムでの最終戦を勝利で飾った。レンジャーズ相手に3-2で逃げ切り、超満員の4万6889人のファンが大歓声を送った。コッツイ監督は「今日という日にこの球場を指揮し、勝てたことを誇りに思う」と話した。68年からこの球場を本拠地とするア軍は、28年がラスベガスに移転することが決まっており、オークランドコロシアムの使用契約は今季で終了。ラスベガス移転までの少なくとも3年間にはサクラメントにも移転する。

立川ダイス 昇格へ全力

プロバスケットボールのB3リーグに所属する立川ダイスは、今日28日に24-25シーズンの開幕を迎える。初戦は本拠地アリナ立川立立で山口パッツファイブとの対戦。昨シーズンは直接対決での得失点差1でプレーオフを逃す悔しい結果に。今シーズンは悲願のB2昇格を目指す。10日のプレシーズンゲームでは東京八王子ビートルズ(以下、八王子)と対戦。第1クォーター(Q)は八王子の猛攻で劣勢になるも、中盤からはPG藤井優(27)甲斐将志(24)を中心とした鉄壁なディフェンスと、アンドリュー・フィッツジェラルド(33)の力強いプレーで点を重ねた。立川ダイスは第4Qまで粘り強いプレーをみせ、85-66で勝利。シーズンに向けて好調な走り出しとなった。



◆立川ダイス 東京都立川市を本拠地とするバスケットボールチーム。B3リーグには22-23シーズンから参加。「多くの人が豊かで幸福にあふれた生活を送ることに寄与する」という理念を掲げ、スポーツが産業として発展するとともに、永続的に社会に貢献できる存在となることを目指す。理念に基づき、児童養護施設や学童への訪問、バスケットボール教室の実施など、地域密着型の活動に力を入れている。

◆26日の日本人投手◆

投手	回	投	球	失	点	打	点	死	点	失	点
松井 稼	3	82	3	7	1	0	0	0	0	0	0
62試合	4勝	2敗	0S	61	3	7	1	0	0	0	0

◆26日の日本人投手◆

投手	回	投	球	失	点	打	点	死	点	失	点
松井 稼	3	82	3	7	1	0	0	0	0	0	0
62試合	4勝	2敗	0S	61	3	7	1	0	0	0	0



5戦連発58号
ジャッジ
2年ぶり地区V
ヤンキース 本拠地でオリオールズに勝利し、2年ぶりの地区優勝を決めた。2回にスタントンが27号ソロ7回にはジャッジが今季初自己最長タイとなる5試合連続の58号2ランを放ち、10-1で圧勝。シーズン14度目のアベック弾は球団記録に並んだ。ジャッジはこのヒンスタンプを着て、このスタジアムでプレーする以上、勝利を求められる。昨年はポストシーズンで逃したが、2度と起こさないという力を込めた。

学生が取材
○…この記事は、産業能率大イベントプロデュース講座の学生が取材しました。【記事】西野楓人、古木康晴、佐藤和音【写真】紀壮一郎、池内ひかり、成瀬光希



「前の基準が高い」16~19年マエケンが語る常勝ドジャース組織論

「米で初めて」
は、誰々を受け継がれが根拠にある。16年か、カース前田健太投手が、前への執着心の強さ、スピンで、敗退後、涙を流す姿は、ドジャース、J.T.（ターナー）とか、リーガーも泣くんだ、てた気がします。それ、勝ちに貪欲なチームで

「当たり前」のレベルの高さは今も受け継がれる。試合前練習では早出でベッツ、フリーマン、マンシエら主力が基礎的な準備練習を反復。ラックスら若手も交じり、ノックを受けるのは日常である。投手陣には自衛となるカーショウの背中があり、「全部完璧にやる」姿が意を高める。チームを率いるロバーツ監督は、持ち前のコミュニケーション能力で選手を常に前向きにし、クワウンドで力を発揮させる人間味にあふれる監督だった。「メジャーの監督では珍しく、打たれた後とくにすごい声を掛けてくれた。ポジティブた

し、通訳が入ると少し（ニュアンスが）変わるかもしれないからと2人で話す時もあった。すごいぶつかって来て熱い方でした！」
前田が在籍中は4年連続で地区優勝し、ワールドシリーズにも2度出場。常勝軍団のイスマムを肌で感じ取った。「起用法とかいろいろありましたけど、フリーマン（監督）も監督も選手も勝つためにやっていたので、すごい勉強になった。面白かった」
チームの勝利を追い求め、移籍を決断した大谷にとって、ドジャースは望み続けた場所だった。

◆ドジャースの戦績10年成績◆

年	監督	勝	敗	勝率	ポストシーズン
15	D.ロバーツ	92	70	.568	地区シリーズ敗退
16	D.ロバーツ	91	71	.562	リーグ優勝決定戦敗退
17	〃	104	58	.642	ワールドシリーズ敗退
18	〃	92	71	.564	ワールドシリーズ敗退
19	〃	108	56	.654	地区シリーズ敗退
20	〃	43	117	.267	ワールドシリーズ優勝
21	〃	105	56	.654	リーグ優勝決定戦敗退
22	〃	111	51	.685	地区シリーズ敗退
23	〃	109	62	.617	地区シリーズ敗退
24	〃	95	64	.597	〃

⇐2024年9月28日付
ドジャース大谷 記事下掲載

リ訴訟
手(30)が、(株)を達成の所有権

ディン」で27日から入札が始まる。だが、フロリダ州に住むマックス・マタスさん(18)は複数人のグループが、ボールの正当な所有権を持つと主張。訴状ではマタスさんがボールを

キャッチしたが、男性ファンに体を押さえられボールを奪われたとして、裁判所はこの試合に限り、観戦開始を許可したが、判決が出たことで売却できないとしているという。

◆ドジャースはパドレスとの本拠地最終戦で5万2433人を集め、今季の観客数が計394万1261人に。ドジャーススタジアムを本拠地として以降、19年の39万74309人に次ぐ2番目の多さだった。

レイアウト

◆大谷の最近の試合成績

日	相手	打数	得点	塁打	本塁打	打点	盗塁	犠打	犠飛	三振	四球	併殺	守備
19	マリナーズ	20	4	2	2	294	2	2	2	2	2	2	2
20	ロッキーズ	6	0	4	3	297	3	3	3	3	3	3	3
21	カブス	4	3	1	1	301	1	1	1	1	1	1	1
22	カブス	6	0	5	4	301	4	4	4	4	4	4	4
23	パドレス	2	0	4	1	301	1	1	1	1	1	1	1
24	パドレス	2	0	4	1	301	1	1	1	1	1	1	1
25	カブス	4	3	1	1	303	1	1	1	1	1	1	1
26	カブス	4	3	1	1	303	1	1	1	1	1	1	1
27	カブス	4	3	1	1	303	1	1	1	1	1	1	1
28	カブス	4	3	1	1	303	1	1	1	1	1	1	1

7試合連続、690 29 20 5 16 7

◆28日の日本人打撃◆
選手名 打数 得点 塁打 本塁打 打点 盗塁 犠打 犠飛 三振 四球 併殺 守備

大谷 1 打数 3 1 塁打 3 得点 2 塁打 190 53 126 56 305

◆28日の日本人投手◆
選手名 打数 得点 塁打 本塁打 打点 盗塁 犠打 犠飛 三振 四球 併殺 守備

大谷 1 打数 3 1 塁打 3 得点 2 塁打 190 53 126 56 305

立川ダイス

昇格へ全力

昨日の試合結果

立川ダイスは、昨日の試合で、対戦相手のチームを破り、昇格への道を切り拓いた。この勝利は、チームにとって大きな転機であり、ファンたちも大いに盛り上がった。

Bリーグ今日開幕

立川ダイスは、本日開幕戦を迎える。対戦相手は、地元チームである。試合は、立川ダイスの選手たちが、チームの力を最大限に発揮し、勝利を収めることが期待されている。

5戦連発58号

ジャッジ

ジャッジは、5戦連発で、58号の成績を挙げた。この活躍は、チームにとって大きな貢献であり、ファンたちも大いに盛り上がった。

2年ぶり地区V

ジャッジ

ジャッジは、2年ぶりに地区優勝を果たした。この勝利は、チームにとって大きな転機であり、ファンたちも大いに盛り上がった。

立川ダイス

東京都立川市を本拠地とするバスケットボールチーム。B3リーグには22-23シーズンから参加。多くの人が豊かに暮らすことを目指す。理念に基づき、児童養護施設や学校への訪問、バスケットボール教室の実施など、地域密着型の活動に力を入れている。

学生が取材

この記事は、産業能率大学イベントプロデュース講座の学生が取材しました。【記事】西野 大、古木 康晴、佐藤 和音【写真】紀士 一郎、池内 ひかり、成瀬 光希

◆日刊スポーツ社員によるノウハウ提供

< イベント事業担当者 >

イベント企画、計画、準備、
コスト、リスク、運営、経験
イベントの影響力、広告換算

紙面制作・打ち合わせ

紙面制作レイアウターと広告(紙面・デジタル)担当者が
講義内で打ち合わせに参加

< 紙面制作レイアウター >

紙面の構成
緊急時(雨天中止など)の準備
素材(記事・写真)の準備
見出しの考え方

協賛クライアントの紹介

【過去実績】

セントラルスポーツ、ウィダーin、ファイテン、
大塚製薬、ニチバン、ライトアベイル、花王、
キンカン

< 広告部(営業) >

協賛募集のアドバイス
広告主・広告代理店との連携
(学生による協賛プレゼンへの同行)
プロモーションのアドバイス
メディア(紙面・WEB)の活用
紙面掲載(スペース確保と掲載)
掲載紙や協賛媒体の配送
大会関連のサポート

日刊スポーツのイベント(コンテンツ)を
【生きた教材】としての大学PBL

◆外部企業・団体に所属の講師による講義

外部講師の派遣(過去実績)

<エンタメ企業のスポーツイベント運営：社会貢献活動>

(株)LDH JAPAN

(小学4～6年生を対象とした)フットサル大会「EXILE CUP」企画・運営

<エンタメ企業のイベント運営・タレントマネジメント>

(株)キョードー東京 (音楽、ミュージカル、オペラ、舞台、バレエなど)

国内イベント運営、海外エンタメの招致、プロモーション

ダンスカンパニー「DAZZLE」

イマーシブルシアター (体験型公演) の制作・上演。常設劇場の運営

(株)SMAG (タレントマネジメント、イベントプロモーション)

自己形成・自己啓発、コミュニケーション形成について

<スポーツ競技団体の運営 (競技大会、選手育成、競技普及、スポンサー、etc.) >

日本バレーボール協会、日本陸上競技連盟、ホッケージャパンリーグ

日刊スポーツと連携のあるイベント関連団体にご講義を頂く
人的ソリューションの提供

◆「神宮外苑花火大会」現地実習

開催前日 = イベント準備

什器・資材の搬入・設置、会場設営・周辺養生、協賛ノベルティ仕分け、
会場全体把握、スケジュール把握
(現地集合、ドレスコード、体調管理など含む)

開催当日 = 班別実習(各自解散→宿舎へ)

【統括プロデューサー班】 本部運営サポート (問い合わせ電話対応なども)

【プレス班 (ライター・フォト)】 日刊スポーツ記者やオフィシャルカメラのサポート

【オペレーション班】 ステージ周りの運営サポート、地域対策サポート

【プロモーション班】 ゲスト控え室やケータリング周りのサポート

開催翌日 = 現場原状回復

什器・資材の撤収、会場清掃・周辺清掃・養生撤去
(宿泊先の退去、現地解散を含む)

日刊スポーツのイベントでの現地実習
= イベント現場のリアルを体験



◆「SANNO CUP」大会サポート

< 協賛品の提供 >

協賛各社からの物品提供 （協賛報告書のための撮影や取材）
日刊スポーツ本紙、同ノベルティの提供



(C) 日刊スポーツ新聞社

< 大会当日・運営サポート・アドバイス >

大会視察、開会式・閉会式への出席、
表彰式プレゼンター、運営アドバイス
記者らの現地指導、添削 （本社へのニュース出稿）

< 大会当日・速報ニュース対応 >

nikkansports.comでの速報ニュース掲載

< 大会事後・特集紙面掲載 >

編集紙面 1 2 段（学生コンテを基にプロが制作）

+ 広告（大学 P R と協賛各社の紹介） 3 段

nikkansports.com上で特設サイトの発信（1 週間）



日刊スポーツの 1 個面を使用しての露出提供
学生の紙面制作、P B L 成果発表、
大会や大学のプロモーション機会

参加者

関係者

一般読者

私たちは産能率大学
「SANNO CUP 2024」を
応援しています。

キンカン

炭酸力の
バブ メディカ

ニチバン

(五十音順)

◆日刊スポーツが【大社連携PBL】に取り組むメリット

①イベントにおける人材確保・次世代育成

30人超の運営スタッフとしての人員配置

イベント運営を志す学生＝向上意識高い人材（通常のバイトとは異なる）

イベント運営を担う次世代スタッフの育成（育てる側、育てられる側）

②新しいアイデアの宝庫

イベントにおける課題解決に取り組む学生から新しい考え方を得る

（サンプリング品の仕分け手順、弊紙には無い紙面レイアウト案、etc.）

③企業プロモーション

若い世代（現役大学生、進学高校生、出場小学生）やその保護者への日刊スポーツの大社連携ブランディング（読者への訴求も）

④連携企業との関係構築・強化

プロモーションのメニューとして、連携企業や広告代理店への声かけ
外部講師を委託する企業・団体との協働（産学連携の関係構築）

⑤新聞メディアの理解促進

協賛事業＋広告事業（協賛名義＋紙面スペースを記事広告として活用）
日刊スポーツ紙面やコンテンツ、リソース、ノウハウをパッケージ化

左から
2023大会
2022大会
2021大会
2020大会



左から
2019大会
2018大会
2017大会
2016大会



私たちが目指すもの

< 日刊スポーツ綱領 > 1978年1月

1. 新聞倫理綱領の精神に基づき、スポーツ・文化・芸能・レジャーなどのニュースを正しく速く報道し、その解説評論を行う。
2. 報道を通じて、自由で公正な明るい社会の育成、国民の健康増進、文化の向上に努める。
3. 報道をはじめ、広告、販売、企画などのあらゆる活動により、スポーツ・文化・芸能・レジャー各界の健全な発展を図り、国際親善に寄与する。

この科目を通しての真の学び

多くのPBLにおいて学習者は

「華やかな成功体験」を求めがち。

残念ながら、そこで終わると“良い思い出”止まり。

プロジェクトを通して、

「たくさん躓く」「不甲斐なさに向き合う」

「できた自分をしっかり褒める」・・・ことで、
大学後半の学びの目的・目標を見いだす。

大学という安全に転べる場で、

社会に出る前にたくさん転んでおくことが大事。